

菅原 憲一（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

1) The effect of initiation prediction and non-prediction on muscle relaxation control. Hitomi Matsumoto, Yuma Takenaka, Tomotaka Suzuki, Kenichi Sugawara. Journal of physical therapy science 35(4) 293-299 2023 年 4 月

2) Evaluating the immediate effect of the speed alteration task on walking stability using the Timed Up and Go test Masayuki Tsuchida, Yuma Takenaka, Tomoya Kokue, Tomotaka Suzuki, Chihiro Kurosawa, Yuya Yokouchi, Yoshihiro Kai, Kenichi Sugawara. Journal of Physical Therapy Science 35(4) 281-288 2023 年

3) Corticospinal excitability changes during muscle relaxation and contraction in motor imagery
Yuma Takenaka, Hitomi Matsumoto, Tomotaka Suzuki, Kenichi Sugawara
European Journal of Neuroscience 58(8) 3810-3826 2023 年 8 月 29 日

4) Comparing movement-related cortical potential between real and simulated movement tasks from an ecological validity perspective. Kakuya Ogahara, Akira Nakashima, Tomotaka Suzuki, Kenichi Sugawara, Naoshin Yoshida, Arihiro Hatta, Takefumi Moriuchi, Toshio Higashi Frontiers in human neuroscience 17 1313835-1313835 2023 年

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本基礎理学療法学会 評議委員（2021 年 9 月 16 日から）
- 2) 三浦市障害者介護給付等の支給に関わる審査委員
- 3) 日本基礎理学療法学会評議委員
- 4) 日本基礎理学療法学会学術大会 演題査読委員
- 5) 日本理学療法学会連合の和雑誌『理学療法学』、洋雑誌 Physical Therapy Research 編集委員
- 6) 日本理学療法学会連合の和雑誌『理学療法学』、洋雑誌 Physical Therapy Research 『理学療法学』 論文査読委員
- 7) 第 28 回基礎理学療法学会学術大会 一般口頭演題座長．広島国際会議場（広島）
- 8) 非侵襲的脳刺激と理学療法に関する検討委員会 2023 年度セミナー講演：TMS の基礎知識と安全性，令和 6 年 2 月 10 日（東京都立大学）

5 社会貢献

- 1) 日本赤十字社神奈川県支部 評議員（令和4年3月まで）
- 2) 慶育病院リハビリテーション科 非常勤理学療法士（臨床指導）
- 3) 2023 年度 日本理学療法協会理学療法にかかわる研究助成の審査

7 学会等での活動

- 1) Tomoya Kokue, Yuma Takenaka, Kenichi Sugawara. Kinematic control in active acceleration and adjustment of gait speed World Physiotherapy Congress Dubai (UAE) June 2023.
- 2) Y. Takenaka, H. Matsumoto, T. Suzuki, K. Sugawara. Background muscle state changes corticospinal excitability during motor imaging of muscle relaxation and contraction. World Physiotherapy Congress Dubai (UAE) June 2023
- 3) K. Sugawara, Y. Takenaka, H. Matsumoto, T. Suzuki. Differences in the effect of sensory afferent inhibition on output mechanisms of agonist and antagonist muscles. World Physiotherapy Congress Dubai (UAE) June 2023
- 4) H. Matsumoto, Y. Takenaka, T. Suzuki, K. Sugawara. Characteristics of muscle relaxation control in stroke hemiplegic patients. World Physiotherapy Congress Dubai (UAE) June 2023
- 5) N. Hida, H. Matsumoto, M. Kubo, K. Nisikata, M. Watanabe, K. Sugawara. Effect of Sling Exercise Therapy on Hemiplegic Gait. World Physiotherapy Congress Dubai (UAE) June 2023
- 6) 沼田純希、寺尾安生、富樫尚彦、長谷川一子、菅原憲一、宇川義一、古林俊晃
パーキンソン病患者における下肢の時間的同期能力の特徴 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（福岡国際会議場、福岡市）2023/11/30
- 7) 沼田純希、寺尾安生、富樫尚彦、長谷川一子、菅原憲一、宇川義一、古林俊晃
パーキンソン病患者における下肢の時間的同期能力と歩行障害の関連性 第28回日本基礎理学療法学会学術大会（広島国際会議場、広島市）2023/12/2
- 8) 竹中悠真、鈴木智高、菅原憲一。「運動学習に伴う運動イメージ中の皮質脊髄路興奮性の変化」「第28回日本基礎理学療法学会学術大会」広島国際会議場（広島）2023/12/2
- 9) 小久江智耶、竹中悠真、菅原憲一。「能動的な歩行速度の減速調整に関わる運動学的制御」「第28回日本基礎理学療法学会学術大会」広島国際会議場（広島）2023/12/2
- 10) 松本仁美、竹中悠真、鈴木智高、菅原憲一。「脳卒中片麻痺患者における反復練習後の筋弛緩制御の変容に関する検討」「第28回日本基礎理学療法学会学術大会」広島国際会議場（広島）2023/12/2
- 11) 山本真生、菅原憲一、竹中悠真、鈴木智高、近藤国嗣。「末梢神経電気刺激中の tonic contraction における筋出力調整が皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響」「第28回日本基礎理学療法学会学術大会」広島国際会議場（広島）2023/12/3

12) 安武快, 柳瀬美空, 竹中悠真, 小久江智耶, 菅原憲一. 「効率的運動学習を構築するための方法論の検討」 「第 28 回日本基礎理学療法学会学術大会」 広島国際会議場 (広島) 2023/12/3

13) 柳瀬美空, 安武快, 小久江智耶, 竹中悠真, 土田将之, 菅原憲一. 「リズム音刺激による加減速歩行誘導時の運動学的制御」 「第 28 回日本基礎理学療法学会学術大会」 広島国際会議場 (広島) 2023/12/3

8 学内教育活動

- 1) 基礎運動療法学における視聴覚教材作成、運動療法各種手技に関する演習指導の開発
- 2) 電気生理診断特論における視聴覚教材および実習指導教材作成、実験結果発表指導
- 3) 大学院博士前期課程『運動機能制御学特論および特論演習』における実験方法論および講義視覚教材作成
- 4) 大学院博士後期課程『リハビリテーション病態解析学特論および特論演習』における実験指導
- 5) 大学院修士博士前期課程院生 (M1 ; 2 名, M2 ; 1 名) の指導教員
- 6) 大学院博士後期課程院生 2 名 (D1 : 2 名, D2 : 1 名, D3 : 1 名) の指導教員
- 7) 日本学術振興会特別研究員受け入れ

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議 委員長
- 2) 総務企画委員会 委員
- 3) 全学入試委員会 委員
- 4) 自己評価審査会 委員
- 5) COI 委員会 委員
- 6) アドミッションセンター長
- 7) 内部質保証推進部会部会長

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 令和 2 年度～令和 5 年度 科学研究費助成 (基盤研究 C) 運動スキル特異的電気刺激を用いた新たなリハビリテーションプログラムの開発 研究代表者
- 2) 令和 3 年度～令和 6 年度 科学研究費助成 (基盤研究 C) 研究分担者
- 3) 令和 5 年度～令和 7 年度 科学研究費助成 (基盤研究 C) 研究代表者

仙波 浩幸（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 仙波浩幸：理学療法士及び作業療法士法. 平林勝政・他編集『ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障④看護をめぐる法と制度第5版』, メディカ出版, 2024. (分担執筆)
- 2) 仙波浩幸：認知症と理学療法. 潮見泰藏編『神経障害理学療法学第2版』, 羊土社, 2024. (分担執筆)
- 3) 仙波浩幸：脳血管障害患者の精神症状. 潮見泰藏編『神経障害理学療法学第2版』, 羊土社, 2024. (分担執筆)
- 4) 仙波浩幸：成人期. 笹田哲編『人間発達学』, 診断と治療社, 2023. (分担執筆)

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本理学療法士学会連合 日本精神心理領域理学療法研究会 副理事長
- 2) 日本リハビリテーション教育評価機構 評価員
- 3) 臨床実習指導者講習会 (主催: 神奈川県立保健福祉大学) 講師
- 4)

5 社会貢献

- 1) 神奈川県立相模原高等学校 出張授業 2023.7.14
- 2) 神奈川県立大和西高等学校 出張授業 2023.11.13
- 3) 三浦学苑高校模擬授業 2023.12.11
- 4) オープンキャンパス運営
- 5) ミニオープンキャンパス運営

7 学会等での活動

- 1) 第40回神奈川県理学療法士学会 口述発表座長
- 2) 日本理学療法士協会 専門理学療法士 (神経)
- 3) 日本理学療法士協会 専門理学療法士 (教育)
- 4)

8 学内教育活動

- 1) 理学療法学概論講義および視聴覚教材作成
- 2) 理学療法学概論演習講義および視聴覚教材作成
- 3) 機能障害評価学総論講義および視聴覚教材作成
- 4) 特定疾患理学療法特論講義および視聴覚教材作成
- 5) 精神疾患系理学療法学特論講義および視聴覚教材作成
- 6) 保健医療福祉論Ⅰ講義および視聴覚教材作成
- 7) 見学実習担当 実習前・後セミナー
- 8) 評価学実習担当実習調整者 実習前・後セミナー 実習地訪問
- 9) 総合臨床実習担当実習調整者 実習前・後セミナー 実習地訪問
- 10) 理学療法卒業研究 研究指導 2名

- 11) 理学療法士国家試験対策 ショートレクチャー（精神医学）担当
- 12) 客観的臨床能力試験（OSCE）試験委員

9 学内各種委員会活動

- 1) 理学療法学専攻 専攻長
- 2) 内部質保証推進部会部員
- 3) 人権倫理委員会委員

14 その他

- 1) 日本保健医療大学非常勤講師
- 2) 東北文化学園大学非常勤講師
- 3)

内田 賢一（大学院保健福祉学研究科兼務）**4 学会，協会，公的団体の委員など**

- 1) （公社）日本理学療法士協会 代議員 2023.4.1～2024.3.31
- 2) （公社）日本理学療法士協会 組織運営協議会委員 2023.4.1～2024.3.31
- 3) （公社）日本理学療法士協会雑誌 Up to date 編集部会長 2023.4.1～2024.3.31
- 4) （公社）神奈川県理学療法士会 会長 2023.4.1～2024.3.31
- 5) 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会 委員 2023.4.1～2024.3.31
- 6) 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会「働きやすい環境造り検討委員会」委員長 2023.4.1～2024.3.31
- 7) （公社）神奈川県理学療法士会 表彰委員会 委員長 2023.4.1～2024.3.31
- 8) 臨床実習指導者講習会神奈川県協議会 会長 2023.4.1～2024.3.31
- 9) 神奈川県病院医療関係団体連絡協議会 委員 2023.4.1～2024.3.31
- 10) （公社）神奈川県病院協会学術委員会 委員 2023.4.1～2024.3.31
- 11) 神奈川県医療専門職連合会 会長 2023.4.1～2024.3.31
- 12) 神奈川県民医療推進会議 団体理事 2022.4.1～2023.3.31

5 社会貢献

- 1) 横浜薬科大学薬学部臨床薬学科 「リハビリテーション概論」非常勤講師 2023.10.1～2024.3.31.
- 2) 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 臨床アドバイザー 2023.4.1～2024.3.31
- 3) 神奈川県立伊志田高校 系統別説明会 2023.6.5
- 4) 湘南医療大学臨床実習指導者講習会 ファシリテーター 2023.7.8.
- 5) ニューレジリエンスフォーラム神奈川大会 協力依頼講話 2023.11.25.

6 講演，放送

- 1) 神奈川県理学療法士会における組織化の方向性と管理者の協力体制．協会指定管理者研修（初級） 講師 2023.12.24.
- 2) 湘南西部ブロックリハビリテーションカレッジ 講師 2023.7.29.
- 3) 神奈川県内部障害理学療法研修会 講師 2023.6.17

8 学内教育活動

- 1) 学部）生活環境学の講義および視聴覚教材作成、地域環境調査
- 2) 学部）呼吸・代謝系運動療法学の講義および視聴覚教材作成
- 3) 学部）理学療法管理学Ⅰの講義および視聴覚教材作成
- 4) 学部）理学療法管理学Ⅱの講義および視聴覚教材作成
- 5) 学部）スポーツ理学療法学特論の講義および視聴覚教材作成
- 6) 学部）救命救急学の講義および視聴覚教材作成
- 7) 学部）卒業研究指導（2名）
- 8) 大学院）運動機能障害理学療法学特論の講義および視聴覚教材作成

9) 大学院) 博士前期課程 主指導教員 1 名担当

9 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会 委員
- 2) 研究助成専門部会 委員

14 その他

- 1) オープンキャンパス 運営担当&入試相談
- 2) リハ学科ミニオープンキャンパス秋 運営担当
- 3) リハ学科ミニオープンキャンパス春 運営担当
- 4) 高校生向け大学説明会 運営担当
- 5) 推薦入試 試験本部員
- 6) 一般入試前期試験 面接官
- 7) 大学入試センター試験 試験本部員
- 8) 理学療法学専攻 広報企画班 班長
- 9) 理学療法学専攻 AC 会議 委員
- 10) 理学療法学専攻 OSCE 検討班 委員
- 11) 理学療法学専攻臨床実習指導者講習会 講師&ファシリテーター

島津 尚子（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局学術編集部査読係係長 2023.4～2024.3
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局新人教育部部員 2023.4～2024.3
- 3) ヒューマンサービス学会編集委員 2023.4～2024.3
- 4) 神奈川リハビリテーション研究会幹事 2023.4～2024.3
- 5) 神奈川ボバース研究会 2023.4～2024.3
- 6) 臨床実習指導者講習会（主催：神奈川県立保健福祉大学）講師 2023.9.29～30
- 7) 臨床実習指導者講習会（主催：湘南医療大学）講師 2023.7.8～9

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 個別相談会 2023.8
- 2) 高校訪問 2023.7
- 3) らくらく介護研修「バイオメカニクスに基づいた介助する側・される側、両者に負担の少ない介助方法」 神奈川県立保健福祉大学実践センター 2023.9.4～5
- 4) 横須賀・三浦ブロックゆめくらぶ大学「その人に合った福祉用具の選び方・使い方」講師 2023.10.12

7 学会等での活動

- 1) 山崎菜々子，島津尚子，小池友佳子（2023）．理学療法士が装具療法の熟達にあたり影響を受けた経験の分析—下肢装具作製時に着目して—（中間報告）．第10回日本支援工学校理学療法学会大会．2023.12.16～17

8 学内教育活動

- 1) 成人中枢神経系運動療法学における視聴覚教材作成
- 2) 中枢神経系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 3) 義肢装具学における視聴覚教材作成
- 4) 義肢装具学演習における視聴覚教材作成
- 5) 中枢神経疾患アプローチ特論における視聴覚教材作成
- 6) 感覚運動アプローチ論における視聴覚教材作成
- 7) 理学療法学研究法演習 研究指導3名
- 8) 理学療法卒業研究 研究指導3名
- 9) 理学療法士国家試験対策 ショートレクチャー（義肢装具学・中枢神経系）担当
- 10) 評価学実習，総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける現場訪問等
- 11) 客観的臨床能力試験（OSCE）の運営
- 12) 大学院「地域理学療法学特論」における視聴覚教材作成
- 13) 博士前期課程 指導教員（1名）

9 学内各種委員会活動

- 1) アドミッションセンター分析部門 2023.4.1～2024.3.31

- 2) 学生委員会 2023.4.1～2024.3.31
 - 3) 進路支援ワーキング 2023.4.1～2024.3.31
 - 4) 病院説明会準備・運営 2023.6.24
 - 5) 病院・施設就職説明対応 2023.6～2024.3
 - 6) オープンキャンパス準備 2022.8
 - 7) オープンキャンパス・個別相談会運営 2022.8
-
- 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託
 - 1) 研究代表者：黒河内仙菜（分担者 島津尚子）
研究課題名：脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発
補助金名： 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（c）（2020～2023 年度）
-
- 14 その他
 - 1) 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター非常勤職員 2022.4～2023.3

鈴木 智高（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Sugawara K, Takenaka Y, Suzuki T. Effects of sensory afferent input on motor cortex excitability of agonist and antagonist muscles. Behavioural Brain Research 2024; 464. (in press)
- 2) Ogahara K, Nakashima A, Suzuki T, Sugawara K, Yoshida N, Hatta A, Moriuchi T, Higashi T. Comparing movement-related cortical potential between real and simulated movement tasks from an ecological validity perspective. Front Hum Neurosci. 2024.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 新人教育部部員. 通年
- 2) 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 横須賀・三浦ブロック会計. 通年

5 社会貢献

- 1) SSH 指定神奈川県立横須賀高校「Principia I」受け入れ、生徒 8 名指導. 通年
- 2) 県立横須賀大津高校 系統分野別ガイダンス「理学療法・作業療法」講師. 2023.7.19
- 3) 県立伊志田高校 模擬講義「理学療法学」講師. 2023.10.27
- 4) オープンキャンパス 理学療法学専攻模擬講義 講師. 2023.8.5 および 8.6

6 講演，放送

- 1) （公社）日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会講師. 2023.7.8-9
- 2) （公社）日本理学療法士協会第 1125 回臨床実習指導者講習会講師. 2023.9.29-9.30

8 学内教育活動

- 1) 筋・骨格系機能障害評価学. 2023.4～2023.9
- 2) 運動学演習. 2023.4～2023.9
- 3) 動作解析学. 2023.4～2023.9
- 4) 動作画像分析学. 2023.4～2023.9
- 5) 運動機能制御学特論. 2023.4～2023.9
- 6) 卒業研究. 学生 3 名指導. 2023.4～2024.3
- 7) 運動学Ⅰ. 2023.10～2024.3
- 8) 運動学Ⅱ. 2023.10～2024.3
- 9) 臨床運動学. 2023.4～2024.9
- 10) 理学療法学研究法演習 学生 3 名指導. 2023.10～2024.3
- 11) 運動機能制御学特論演習. 2023.10～2024.3
- 12) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー. 2024.1.9
- 13) 理学療法見学実習・評価学実習・総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ. 2023.4～2024.3
- 14) 博士前期課程 院生 2 名副指導教員. 2023.4～2024.3
- 15) 理学療法学専攻国家試験対策担当

16) 理学療法学専攻臨床実習指導者講習会担当

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科入試委員会, 委員. 通年
- 2) 時間割ワーキンググループ, 委員. 通年
- 3) 広報委員会, 委員. 2023.8～2024.3
- 4) アドミッションセンター入試広報部門, 委員. 2023.8～2024.3

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C): 4,030 千円、研究課題名「歩行中の注意負荷量に対応する歩行調節能力を指標とした転倒予防戦略の構築」、鈴木智高 (研究代表者)
- 2) 基盤研究 (C): 4,290 千円、研究課題名「運動スキル特異的電気刺激を用いた新たなリハビリテーションプログラムの開発」、鈴木智高 (研究分担者)、菅原憲一 (研究代表者)
- 3) 基盤研究 (C): 4,680 千円、研究課題名「歩行速度調整メカニズムの解明と新たな歩行リハビリテーションプログラムの開発」、鈴木智高 (研究分担者)、菅原憲一 (研究代表者)

14 その他

- 1) 湘南医療大学 非常勤講師. 通年
- 2) 医療法人徳昌会あきやま医院 非常勤職員. 通年

平瀬 達哉（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 平瀬達哉. (2023 年). フレイル高齢者の関節可動域. 三輪書店. 東京.

2 学術論文

- 1) Hirase T, Inokuchi S, Koshikawa S, Shimada H, Okita M. (2023). Preventive effect of an intervention program with increased physical activity on the development of musculoskeletal pain in community-dwelling older adults: a randomized controlled trail. Pain Med, 24, 507-514.
- 2) Hirase T, Okubo Y, Delbaere K, Menant JC, Lord SR, Sturnieks DL. (2023). Risk factors for falls and fall-related fractures in community-dwelling older people with pain: a prospective cohort study. Int J Environ Res Public Health, 20, 6040.
- 3) Hirase T, Inokuchi S, Okita M. (2023). Reply to letter to the editor regarding “Preventive effect of an intervention program with increased physical activity on the development of musculoskeletal pain in community-dwelling older adults: a randomized controlled trail”. Pain Med, 24, 1290.
- 4) 平瀬達哉. (2023). 介護予防におけるペインリハビリテーション. ペインクリニック, 44, S89-S98.

3 その他の著作

- 1) なし

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人 日本ペインリハビリテーション学会 理事
- 2) 一般社団法人 日本ペインリハビリテーション学会 倫理委員会委員長
- 3) 一般社団法人 日本理学療法学会連合 編集委員会査読委員
- 4) 一般社団法人 日本地域理学療法学会 機関誌「地域理学療法学」編集委員
- 5) 一般社団法人 日本老年療法学会 評議員

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパスでの学生相談
- 2) 神奈川県足柄上地域における地域リハビリテーション推進事業の意見交換会座長
- 3) 神奈川県立鎌倉高等学校サイエンスカフェでの出張講義

6 講演，放送

- 1) 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催「介護予防における理学療法」講習会での講演
テーマ：介護予防領域における臨床実践に不可欠な基礎知識
日時：2023 年 11 月 25 日
- 2) 神奈川県リハビリテーション支援センター連携構築推進研修での講演

テーマ：介護予防・生活期領域におけるフレイル対策－多職種連携の必要性－

日時：2024年1月19日

- 3) 長崎県地域包括ケアに資する地域リハビリテーション専門職養成研修会での講演

テーマ：転倒予防と早期発見のポイント

日時：2024年3月3日

- 4) 神奈川県立保健福祉大学理学療法学専攻同窓会 うみかぜでの講演

テーマ：高齢期における疼痛対策

日時：2024年3月10日

7 学会等での活動

- 1) 平瀬達哉. 高齢期におけるサルコペニア・ロコモ・フレイル疼痛の最新のエビデンス. 第27回日本ペインリハビリテーション学会学術大会サテライトプログラム, 愛知, 2023年6月24日.
- 2) 平瀬達哉, 大久保善郎, Kim Delbaere, Jasmine Menant, Stephen Lord, Daina Sturnieks. 運動器疼痛を抱えた地域在住高齢者の転倒および転倒に関連する骨折の予測因子: 12ヵ月間の前方視的研究. 第2回日本老年療学会, 鹿児島, 2023年9月3日.
- 3) 平瀬達哉. 第2回日本老年療学会スポンサードシンポジウム「地域医療と介護におけるDXの利活用」座長, 鹿児島, 2023年9月2日.
- 4) 平瀬達哉. 第10回日本予防理学療学会学術大会一般演題座長, 北海道, 2023年10月28日.
- 5) 平瀬達哉. 第10回日本地域理学療学会学術大会一般演題座長, 東京, 2023年12月18日.
- 6) 飯野朋彦, 平瀬達哉, 井口茂. コロナ禍に一般介護予防事業に参加した高齢者のフレイル発生に影響をおよぼす要因の検討. 第10回日本地域理学療学会学術大会, 東京, 2023年12月17日.
- 7) 平瀬達哉, 井口茂, 越川翔太, 島田陽向, 平林晴菜, 沖田実. 高齢者に対する身体活動促進プログラムの運動器疼痛新規発生の予防効果: ランダム化比較試験による検証. 第10回日本地域理学療学会学術大会, 東京, 2023年12月17日.
- 8) 石田咲瑛, 松本仁美, 久保雅昭, 平瀬達哉. 回復期および地域包括ケア病棟の運動器疾患を抱えた高齢患者の退院時のうつ徴候に影響をおよぼす因子の検討. 第10回日本地域理学療学会学術大会, 東京, 2023年12月18日.
- 9) 平瀬達哉. 第17回全国大学理学療法学教育学会大会ワークショップ「学生の視点から興味を抱く大学のカリキュラムの特徴」司会, 静岡, 2024年2月12日.

8 学内教育活動

- 1) 「日常生活活動学」における視聴覚教材の作成
- 2) 「日常生活活動学演習」における視聴覚教材の作成および演習指導
- 3) 「地域理学療法学」における視聴覚教材の作成
- 4) 「地域理学療法見学実習」における視聴覚教材の作成および実習前後学内セミナーの指導
- 5) 大学院博士前期課程「臨床理学療法学特論」における視聴覚教材の作成

- 6) 大学院博士前期課程「臨床理学療法学特論演習」における研究指導
- 7) 大学院博士前期課程「ヒューマンサービス特論演習」グループ討議発表の助言
- 8) 大学院博士前期課程院生（M1：1名）の指導教員
- 9 学内各種委員会活動
 - 1) 大学院研究科運営委員
 - 2) 地域貢献部門委員
 - 3) 学内実習ステーションワーキング委員
- 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託
 - 1) 平瀬達哉．高齢者の慢性疼痛対策としての予防重視型介入戦略の開発とその効果検証．科学研究費補助金若手研究（課題番号：19K19869）．研究代表者．4,030,000 円．令和 2 年度～令和 5 年度
- 11 学内研究助成金の受託
 - 1) 平瀬達哉．運動器疼痛を抱えた高齢者のサルコペニアの発生を予防する介入戦略の開発に向けた調査研究．研究助成 A（協働研究）研究代表者．1,108,819 円．令和 5 年度．
- 12 受賞
 - 1) なし
- 13 特許など
 - 1) なし
- 14 その他
 - 1) なし

藤田 峰子（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川 学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 保健医療福祉連携, 17(1), 2-13.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 新人教育部長.
- 2) 一般社団法人日本物理療法学会 理事.
- 3) 一般社団法人日本物理療法学会 研究倫理委員会.
- 4) 一般社団法人日本物理療法学会 研究助成審査員.
- 5) 日本物理療法学会誌『物理療法科学』 論文査読員.
- 6) 神奈川県理学療法士会・会報『技術と研究』 論文査読係.

5 社会貢献

- 1) 神奈川県立舞岡高校 出前授業 2023.6.20.
- 2) 横浜市立戸塚高校 大学模擬授業 2023.10.26.
- 3) 川崎市立高津高校 学問分野説明会 2023.11.2.
- 4) 神奈川県藤沢総合高校 模擬講義. 2023.12.19
- 5) 老人クラブ連合会「令和5年度横須賀・三浦ブロックゆめクラブ大学」企画運営.
- 6) 臨床実習指導者講習会ファシリテーター・講師担当 2023.9.29～30.
- 7) 第1～3回神奈川県士会主催症例検討会主催.

6 講演, 放送

- 1) 神奈川県理学療法士会 2023 年度新人オリエンテーション「新生涯学習制度について」 2023.4.16.

7 学会等での活動

- 1) 渡邊 恵, 長島 俊輔, 玉川 淳, 志村 華絵, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 岸川 学, 高橋 恭子, 水戸 優子. 多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果: パイロットスタディ. 第1回ヒューマンサービス学会学術集会講演抄録集(pp.15-16), 神奈川県. 2023.11.5.
- 2) 白濱 勲二, 黒澤 千尋, 藤田 峰子, 小池 友佳子, 安田 大典. COVID-19が地域在住高齢者の身体・認知機能, 活動範囲, QOL に与えた影響. 第57回日本作業療法学会抄録集 (p.1051) 神奈川県. 2023.11.11.
- 3) 日本物理療法合同学術大会 2024 一般演題座長. 2024.1.27.

8 学内教育活動

- 1) 2年次必修科目「機能評価学演習」における講義および視聴覚教材の作成
- 2) 3年次必修科目「物理療法学」における講義および視聴覚教材の作成
- 3) 3年次必須科目「物理療法学演習」における講義および視聴覚教材の作成
- 4) 3年次必修科目「循環器系運動療法学」における講義および視聴覚教材の作成
- 5) 3年次必修科目「理学療法過程論」における講義および視聴覚教材の作成（電子カルテを用いた演習を含む）
- 6) 3年次必修科目「理学療法学研究法」における講義および視聴覚教材の作成.
- 7) 3年次必修科目「理学療法学研究法演習」における講義および視聴覚教材の作成.
- 8) 4年次必修科目「卒業研究」における指導（3名）.
- 9) 4年次必修科目「ヒューマンサービス総合演習」における模擬症例の検討.
- 10) 2年次必須科目「解剖学実習Ⅱ」調整役.
- 11) 3年次選択科目「徒手療法特論」（非常勤講師）講義補助.
- 12) 3年次必須科目「小児中枢神経系運動療法学」（非常勤講師）講義補助.
- 13) 大学院博士前期課程 M2 1名 指導教員.
- 14) 大学院博士前期課程判定 主査1名, 副査1名.
- 15) 大学院「臨床理学療法学特論」における講義および視聴覚教材作成.
- 16) 大学院「臨床理学療法学「特論演習」における研究指導.
- 17) 20期生担任業務.

9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会 委員.
- 2) 研究委員会 委員.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 高齢女性尿失禁者の骨盤底筋収縮を促通する干渉低周波トレーニングの開発.2020 年～2024 度科学研究費助成事業（基盤研究 C）,4290 千円.研究代表者：藤田峰子（延長）.

14 その他

- 1) 臨床実習 OSCE ワーキングメンバー.
- 2) 広報企画ワーキングメンバー.
- 3) 入試関連説明のため訪問（神奈川県立海老名高校, 鎌倉高校）.
- 4) オープンキャンパス 運営担当・入試相談.
- 5) リハ学科ミニオープンキャンパス秋 運営担当.
- 6) リハ学科ミニオープンキャンパス春 運営担当.
- 7) 高校生向け大学説明会 運営担当・模擬講義.
- 8) 学校推薦型選抜・特別選抜（私費外国人留学生）・特別選抜（社会人）試験面接官.
- 9) 一般選抜入試前期試験面接官.

浅井 直樹

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本理学療法士協会国際課 協力者

5 社会貢献

- 1) 臨床実習指導者講習会の運営担当
- 2) 大学入学共通テスト試験監督業務
- 3) KKU-KUHS Joint Conference #5 “Healthcare Innovation and Entrepreneurship”
企画運営

6 講演，放送

- 1) 神奈川リハビリテーション病院理学療法科 院内勉強会 講師「学术论文のリテラシー」
2024年2月19日

8 学内教育活動

- 1) 「中枢神経系機能障害評価学」における視聴覚教材の作成
- 2) 「機能評価学演習」における視聴覚教材の作成
- 3) 「ショートレクチャー（脊髄障害・姿勢）」における視聴覚教材の作成
- 4) 理学療法学専攻 OSCE 試験官
- 5) 臨床実習指導者会議運営担当
- 6) 一般前期・推薦入試の運営参加

9 学内各種委員会活動

- 1) FD/SD 委員（通年）
- 2) 理学療法学専攻臨床実習 WG（通年）

12 受賞

- 1) 令和 5 年度神奈川県スポーツ優秀選手表彰受賞（車いすツインバスケットボールチーム
神奈川 JUNKS，ヘッドコーチとして），2024年1月13日

14 その他

- 1) 車いすツインバスケットボールチーム神奈川 JUNKS ヘッドコーチ
- 2) 第 33 回日本車いすツインバスケットボール選手権大会優勝（神奈川 JUNKS ヘッドコ
ーチとして）
- 3) 第 19 回磐田市長杯車いすツインバスケットボール大会準優勝（関東選抜チームヘッドコ
ーチとして）

小池 友佳子

4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 研究支援部員 通年
- 2) 公益社団法人日本理学療法士協会 協会雑誌編集部会員 2023.4.1～7.31

5 社会貢献

- 1) 逗子中部地域包括支援センター主催「逗子しおかぜ体操」体力測定会実施 2023.4.24、8.28
- 2) 逗子中部地域包括支援センター主催「逗子しおかぜ体操」世話人説明会 2023.7.5

7 学会等での活動

- 1) 山崎菜々子、島津尚子、小池友佳子：理学療法士が装具療法の熟達にあたり影響を受けた経験の分析—下肢装具作製時に着目して—（中間報告）．第12回日本支援工学理学療法学会学術大会．2023.12.16.

8 学内教育活動

- 1) 筋・骨格系機能障害評価学（2年前期）講義 2023.4.15～5.19
- 2) 卒業研究（4年通年）研究論文指導
- 3) 保健医療福祉論Ⅰ事前・事後指導 2023.7.18、8.9
- 4) 評価学実習、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける現場訪問等

9 学内各種委員会活動

- 1) アドミッションセンター運営会議 入試広報ワーキンググループ
- 2) FD・SD委員会
- 3) 広報委員会
- 4) 卒業研究関連業務担当
- 5) 理学療法学専攻入試広報班担当
- 6) 理学療法学専攻見学実習・総合臨床実習担当補助、実習の手引き作成担当
- 7) オープンキャンパス当日運営担当
- 8) 理学療法学専攻 SNS 運用担当
- 9) 臨床実習指導者講習会ワーキンググループ
- 10) 理学療法学専攻実習ワーキンググループ

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 平成29年度科学研究費補助事業 若手研究B「要支援高齢者における運動習慣の促進・阻害要因の量的・質的分析」研究代表者（平成29年～令和5年（3,120千円））

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成A「運動器疼痛を抱えた高齢者のサルコペニアの発生を予防する介入戦略の開発に向けた調査研究」研究分担者（研究代表者：平瀬達哉（1,108,819円））

14 その他

- 1) 社会福祉法人聖テレジア会 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 非常勤理学療法士・研究指導 2023.4.1～6.30

田中 繁治

2 学術論文

- 1) 米津亮, 畑野杏奈, 森下佑里, 田中繁治. (2023). スマートフォンを用いた反張膝の測定方法に対する予備的研究－理学療法士学生による検者間信頼性の検討－. 保健医療学雑誌, 14 (1), 32-36.
- 2) Nishimoto J, Ono K, Imura T, Mitsutake T, Tanaka S, Inoue Y, Jung H, Tanaka R. (2023). Effects of Combined Exercise and Psychological Interventions on Psychological Factors After Total Knee Arthroplasty: A Systematic Review. International Journal of Gerontology, 17(2), 82-88.
- 3) Nishimoto J, Tanaka S, Inoue Y, Tanaka R. (2023). Minimal clinically important differences in short-term postoperative Knee injury and Osteoarthritis Outcome Score (KOOS) after total knee arthroplasty: A prospective cohort study. Journal of Orthopaedics, Trauma and Rehabilitation, 30, 1-6.
- 4) Yoshida K, Miura Y, Nakanishi S, Tanaka S, Kuniyasu K, Matsumoto S, Hanayama K. (2023). The impact of diabetic polyneuropathy on toe grip strength in patients with type 2 diabetes mellitus: A cross-sectional study. Journal of Diabetes & Metabolic Disorders, in press.
- 5) Jung H, Yamashina S, Yamasaki R, Inoue Y, Hamada K, Hirohama K, Tanaka S, Tanaka R. (2023). Estimation of reference values of gait spatiotemporal and kinematic parameters in the lower extremities and trunk using a markerless motion capture system for healthy older Japanese adults. Physical Therapy Research, in press.
- 6) Jung H, Tanaka S, Kataoka S, Tanaka R. (2023). Association of sarcopenia, pre-sarcopenia, and dynapenia with the onset and progression of locomotive syndrome in Japanese older adults: a cross-sectional study. Journal of Physiological Anthropology, in press.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 生涯学習部 副部長 通年
- 2) 内閣府 国際アジア健康構想協議会 メンバー 通年
- 3) 日本理学療法士協会国際課 協力者
- 4) 専門学校川崎リハビリテーション学院同窓会理事

5 社会貢献

- 1) 石井病院（群馬県）院内勉強会 講師 2023.8.25
- 2) 国際誌 Journal of International Exercise Science 査読委員
- 3) KKU-KUHS 3rd online mini-conference 司会
- 4) オープンキャンパスの運営担当
- 5) 臨床実習指導者講習会の運営担当

6 講演、放送

- 1) 日本理学療法士協会 理学療法士講習会 講師 2023.9.17
- 2) World Physiotherapy Asia Western Pacific Region Webinar Series 講師 2023.9.27
- 3) 日本理学療法士協会 理学療法士講習会（応用編） 講師 2023.11.4
- 4) 神戸市立西神戸医療センター主催 リハビリテーションカンファレンス 講師 2023.11.16

8 学内教育活動

- 1) 「筋骨格系運動療法学」における視聴覚教材の作成
- 2) 「筋骨格系運動療法学実習」における視聴覚教材の作成
- 3) 「理学療法学研究法演習」における研究指導（2名）
- 4) 理学療法学専攻 OSCE 試験官
- 5) 理学療法学専攻国家試験対策担当
- 6) 理学療法学専攻入学オリエンテーション担当
- 7) 臨床実習指導者会議運営担当
- 8) 一般前期・後期入試の運営参加

9 学内各種委員会活動

- 1) 卒業式・修了式および入学式実行委員会 委員 通年
- 2) 実習センター運営委員会 委員 通年

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 主任研究者：田中繁治（研究代表者）
研究課題名：エビデンスに基づく人工股関節全置換術前後のシームレスな理学療法プログラムの構築
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究
研究期間：2020年4月1日-2024年3月31日
- 2) 研究分担者：田中繁治（研究代表者：田中 亮）
研究課題名：非薬物的介入を行っても効果が得られない難治性膝痛を有す高齢者の個人特性の解明
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）
研究期間：2020年4月1日-2023年3月31日
- 3) 研究分担者：田中繁治（研究代表者：米津 亮）
研究課題名：中枢性疾患の身体を動かす抵抗感を体感できるオンラインリハビリテーション教材の開発
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究（萌芽）
研究期間：2021年4月1日-2024年3月31日
- 4) 研究分担者：田中繁治（研究代表者：井上 優）
研究課題名：ICTを導入したハイブリッド型支援のフレイル予防の有効性と社会インパクトの評価
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）

研究期間：2021年4月1日-2024年3月31日

- 5) 研究分担者：田中繁治（研究代表者：米津 亮）

研究課題名：蹴り出し推進型短下肢装具の開発—中足指節関節の伸屈両立性を担保できるソール素材—

補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）

研究期間：2021年4月1日-2024年3月31日

- 6) 研究分担者：田中繁治（研究代表者：田中 亮）

研究課題名：エビデンスに基づいたロコモティブシンドローム早期対策の実践に資する包括的研究

補助金名：令和4年度厚生労働科学研究費補助金

研究期間：2022年4月-2024年3月

12 受賞

- 1) 保健医療学学会 優秀論文賞 「外因性リスク対策下での入院患者における転倒の内因性リスクの検討」 濱野友生，村浦広樹，田中繁治

14 その他

- 1) 東京家政大学非常勤講師（看護医学英語、医療英会話、コミュニケーション論を担当）
- 2) 神戸大学大学院保健学研究科保健学研究員（博士後期課程在籍の大学院生2名を指導）
- 3) 広島大学大学院人間社会科学研究科研究員（博士後期課程在籍の大学院生2名を指導）